

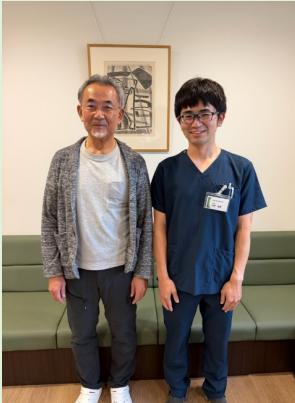
研修医の先生

大井戸での研修を終えて
伊勢崎市民病院研修医 山崎征史

今回の医療法人あづま会の研修では普段の研修とは異なる学びを会得することができました。普段の病院の研修では救急外来や病棟での業務が主となっています。そのため入院した患者さんの退院後の生活に触れること等はなかなかありませんでした。

今回の研修では、訪問診療等を通じて患者さんの退院後のご様子やサポート等の必要性等を改めて確認させていただくことがたくさんありました。また、訪問看護や居宅介護支援事業所での研修では医療というものは改めて医師だけでなく看護師さんやリハビリ職、ケアマネジャー等の多くの方々のご活躍で成り立つということを実感することができました。単に医療的問題を解決するだけでなく、患者さんごとの様々な環境に合わせた診療を行っていくことの大切さを学んだ一ヶ月間でした。

大澤先生をはじめとして医療法人あづま会のスタッフの皆様、そして地域の皆様に大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

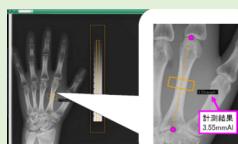


診療所 画像診断にAI導入



当院では新たに、AI技術を持つ「カルナコア」を導入しました。これにより手指の骨を使って、短時間で検査を受ける方の負担が少ない骨密度測定が可能となり骨粗しょう症の早期発見に役立てることができます。また、胸部のレントゲン画像はAIが詳細に解析を行うことで小さな変化にも素早く気づくことができ、より正確で迅速な診断へ繋がります。これからも皆さんに安心して通っていただけるよう、新しい技術を取り入れながら質の高い医療を目指していきます。

診療放射線技師 大島拓希



◆大井戸診療所
TEL:0270-62-3333
群馬県伊勢崎市東小保方町4008-1

◆ケアマネジメントセンターおおいど
TEL:0270-50-0710
群馬県伊勢崎市三室町4014-20

◆高齢者相談センター東(地域包括支援センター)
TEL:0270-75-5966 群馬県伊勢崎市三室町4014-20

◆在宅包括サービスおおいど
TEL:0270-61-8967
群馬県伊勢崎市東小保方町4008-1 2階

◆訪問看護ステーションおおいど
TEL:0270-62-3489
群馬県伊勢崎市東小保方町4008-1 2階

◆デイサービスセンターおおいど
TEL:0270-75-1114
群馬県伊勢崎市東小保方町4005-1

◆いきいきデイサービスおおいど
TEL:0270-27-7310
群馬県伊勢崎市三室町4011-3

医療法人あづま会広報紙



令和7年12月発行
(第52号)
発行 広報委員会



職員紹介



吉野浩之先生

非常勤医師として本年9月に着任しました、吉野浩之と申します。主に金曜日の外来・訪問診療を担当いたします。

群馬県に来て16年目になります。専門は一般外科、小児外科、障害児教育ですが、群馬県、栃木県、愛知県などいろいろな場所で、非常勤医として在宅医療に関わって20年以上になります。栄養療法(栄養管理、摂食嚥下、経管栄養、胃瘻など)や、障害者・障害児の医療と福祉、大学や特別支援学校での教育に携わってきました。

特に、「いつまでも無理なく食べること」の大切さ、赤ちゃんから高齢の方まで切れ目ない在宅生活のための、医療・生活の支援を目指してきました。

大学の先輩でもある大澤先生のもと、地域医療を勉強しながら医療法人あづま会の一員として頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

法人内役職者研修

去る9月28日に、法人内の「役職者研修」がありました。本研修3回目では役職者の資質向上を目的に、マネジメント能力の向上やリーダーシップのあり方などについて、4回に分けて学んでいます。

今回の研修の中で、「〇〇であるべき」という価値観は、人それぞれ違があるため、その境界線、つまり「少し違うが、許容可能の範囲」を広げること、さらに、その境界線の広げ方は、相手や場面によって変わるのでなく、一貫していくことが大切というお話をありました。

さらに、世代間の価値観に相違があることや正確な指示の大切さについて再確認することもできました。

研修内で学んだことを、日々実践していきたいと思います。



在宅包括サービスおおいど 青木邦晃



医療法人あづま会のホームページはQRコードからご覧いただけます

NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク 第4回全国の集いin鶴岡(山形)

去る10月12日(日)、13日(月)「NPO地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク第4回全国の集いin鶴岡」に参加してきました。この集いは、地域包括ケアおよび地域共生社会の推進を目指して、全国の医療機関や介護に携わる方々、そして市民が中心となって催されるものです。

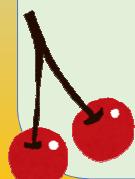
昨年は福岡、今回は山形と全国各地で開催され、基調講演やシンポジウムなどを通して、様々な知見に触れる機会となります。これまで私たちは毎年参加し、実践交流会という事例発表の場で、法人の取り組みを発表して参りました。

今年は8名で参加し、実践交流会では、当法人から2演題を発表させて頂きました。発表者にとって貴重な経験となり、また他法人の事例発表などを聞くことは良い刺激になりました。

また今回、新たな試みとして、一般社団法人メノキと株式会社JINSの連携・協力により「上毛かるた」を用いた視覚障害の世界を知るワークショップを企画し、実現致しました。

初めての挑戦で不慣れなこともありましたが、その分、学びも多く有意義な2日間だったと思います。

管理本部長 島崎 聰



実践交流会にて発表させていただきました！



実践交流会において「より良い看多機を目指して～管理者を看護師に変更することによる看多機再建～」という演題で、看多機を開設してからの問題点とそれに対する取り組み、今後の課題について発表させていただきました。

交流会では、医療・介護の分野だけではなく、地域で暮らす方々の視点での発表もあり新たな気付きもありました。

看多機の利用者は地域で暮らす方々です。今回参加した中で得たことを、地域の皆様に活かすことができるよう努めていきたいと思います。

在宅包括サービスおおいど 高柳 麻衣子

特定非営利活動法人 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク第4回全国の集いin鶴岡 2025に参加させていただき、『介護支援専門員本人の感情にフォーカスした、認知症のひとつとその家族への支援について』を発表をさせていただきました。

自身の感情にフォーカスをするという発表なので受け入れて頂けるか不安な点もありましたが、作成までにたくさんの方に協力を頂き、準備の段階から発表を通じて、多くの方と共に分かち合えたことが何よりの喜びでした。ありがとうございました。

ケアマネジメントセンターおおいど(居宅) 小泉 峻